

全身で描く生きる喜び

魂のいちばんおいしくふくら



「初日の出 大空へ飛ばたく鶴の舞」中出修一画

2013年3月31日(日) 開場 13:00 開演 14:00 終演 16:30

小松市民センター小ホール

小松市大島町丙 42-3

一般 2000 円(当日 2500 円)

高校生以下 1000 円(当日 1500 円)

介助の必要な方と介助者 各 1000 円

第1部 かげぼうし2の会代表世話人 中出繁男氏の講演

中出修一氏の制作実演/三ツ出海人氏を囲んで

第2部 パリヤーソ(谷川賢作&続木力)

コンサート「情景を奏でて」

チケット取り扱い つじぶん・アルブラザ小松平和堂

お問い合わせ つじぶん 小松市小馬出町6

TEL 0761-21-2323 FAX 0761-22-5025

Email tsujibun@kmt.fitweb.or.jp

主催 NPO法人 いのちにやさしいまちづくり ほほほねっと

後援 石川県南加賀保健福祉センター 小松市 小松市教育委員会 小松市社会福祉協議会 小松市医師会
小松市肢体不自由児者父母の会 かげぼうし2の会 重度障がい児と親の会 こくまの会

ごあいさつ

1996年、ALS（筋萎縮性側索硬化症）患者さんとの出会いから、難病を抱えても一人の人間として自分らしく生きていけることを伝えようと「ALSと仲間達」の活動を始めました。そして2012年、コンサート等の活動を通じて出会った様々な立場の方々とともに、「いのちにやさしいまちづくり」の実現を目指して『NPO法人 いのちにやさしいまちづくり ぽぽぽねっと』が生まれました。

誰もが住み慣れた町で安心して暮らしていただけるように、できることから一緒に始めてみませんか？

中出繁男（なかでしげお）

●会の紹介●

昭和40年12月 小松市南町に社会福祉法人石川聖徳学園
第二石川聖徳学園開設
昭和41年3月 健福（保護者）会設立
昭和41年4月 小松市身体不自由児協会設立
小松市立夜谷小学校養護分教場PTA設立
昭和53年4月 「かげぼうし会」設立（遺児会・社会福祉支援）
平成4年1月 「かげぼうし2の会」設立
（障がい児・身心重症児者・高齢者等全般的社会参加支援）
平成4年4月 小松市身体不自由児・者父母の会に改称（特定会員なし、参加自由、全国加盟～国内）会の主催「障害者はいない、普通の人」「笑に前に出ない、影」の位置で「今出来ることを、手伝う、自分のために」
○ふれあい福祉授業・体験授業・公開講座ふれあい福祉事業、無償
当初設立より48年、全国の先駆者として多くを実績

中出修一（なかでしゅういち）

昭和34年8月、福井県大野市に生まれる。出生後40度以上の発熱による強度の痙攣発作をおこす。一年半後「福井県立あかり学園」にて「脳性小児麻痺・四肢機能著しい障害」と診断
昭和40年 社会福祉法人「第二石川聖徳学園」（小松市南町）に入園
昭和50年 石川県立小松養護看護学校（～55年）
昭和52年 養護施設「陽光園」入所（～平成9年）
30年余りの施設生活を経て、在宅生活となる。
現在、小松聖徳学園「むかり」講師
*小松市立夜谷小学校養護分教場で、どうにか動かせる右足の指の周辺にタイヤチューブで鉛筆を固定して、線など書きはじめる。
*平成15年加賀市身体障害者作品展示館に出展した書「鳥」で入賞する。
*平成16年加賀市身体障害者作品展示館に出展した書「線画展」で「市長賞」受賞



支えあいマーク

墨汁で力強く書いた「〇」の下に、波の字形の点を添えたデザイン。「〇」は「みんなでみんなを」、点は「支えあう、助け合う手」をそれぞれ意味している。「〇」の始点と終点は、空へ伸びるイメージで上部にした。市内の個人女性がこの書をリクエストしたところ、中出さんが点を添えて贈ったもの。好評だったため自宅に設けた画廊「しゅう」にも飾ってあるとのこと
「支えあう社会の大切さを伝えたい」との思いをこめられた書である。

パリアーズ 谷川賢作/続木力

パリアーズとは、ポルトガル語でピエロ、道化師の意味。ジャズにしっかりと熱足をおきつつも、ポップスから重鎮・ラテンまでジャンルにとらわれず、古今東西の名曲を演奏する二人組。2001年12月の結成以来、全国各地でのライブ、コンサートはすでに400本近い。ヨーロッパ各地で研鑽を積んだ続木と作・編曲家としても多彩な活動を繰り広げる谷川との絆なかけあいは多くのファンを魅了している。アルバムは、02年4月「パリアーズ」、04年3月「ヌアージュ」、05年6月「グリオ」、09年3月「セレッソ」など。重慶心身障がい児と親の会、こくまの会とのコラボは、2004年3月21日（パリアーズ in 小松）以来。

谷川賢作（たにかわけんさく） 作/編曲 ピアノ



1960年東京生まれ。
ジャズピアノを佐藤光彦に師事。演奏家として、現代詩をうたうバンド「DNA」、ハーモニカ奏者続木力とのユニット「パリアーズ」、また父である詩人の谷川俊太郎と朗読と音楽のコンサートを全国各地で開催。80年代半ばより作・編曲の仕事をはじめ、映画「四十七人の刺客」「龍馬の妻とその夫と愛人」NHK「その時歴史が動いた」テーマ曲等。
08/09/07年に日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞。

近年では、06年ひかわホール制作「雷の落ちない町」の音楽監督（09年再演）ピアニスト飯野真に相曲「スケッチ・オブ・ジャズ」を献呈。作家、山本谷子の短編とエッセイで知る「Jazzing」の音楽プロデューサー。兵庫県立芸術文化センター制作の音楽劇「赤毛のアン」09年横浜公演150周年記念事業「DO-RA-MA YOKOHAMA150」の音楽監督。富山県文化振興財団委嘱作品「少年少女のための交響詩～めざめる羽はたく四奏」（作詩/寛和歌子）初演。映画音楽の最新作は「ソロコンテスト」（監督/下條昌）最新CDはパリアーズウィズフレンズ「セレッソ」（JMCK-3009）、Diva「うたをうたうとき」（TRMR-0013）
谷川賢作オフィシャルサイト <http://tanikawakensaku.com>

続木力（つづきちから） ハーモニカ



1958年東京生まれ。
ブルース・ハーモニカを習得し、1977年渡仏。パリを中心にヨーロッパの路上で演奏活動を続け、ジャンルを問わず、数多くの多国籍ストリートバンドに参加。1988年からはフランスのシンガーソングライター、ジャック・イジュランのレコーディング、コンサートツアーなどでサポート。帰国後はライブハウスを中心に活動。1997年、初のソロアルバム「ディライト」をホリアプロ・ポニーキャニオンよりリリース。

どなたでもご参加いただける。ユニバーサルな関係を心がけております。ご不安がある方は、お問い合わせください。
つじぶん 0761-21-2323

●「いのちにやさしいまちづくり ぽぽぽねっと」とは

人は、いつでも誰でも病いや障がいを抱える可能性を持って生きています。また、地域の子育て環境の変化により子育てに孤独感や閉塞感等の不安を持った母親も少なくありません。

いのちにやさしいまちづくり ぽぽぽねっとは、いのちにやさしいまちづくりのための普及や人材育成活動、及び地域の人々が相互に支え合えるネットワークづくりを通じて、病いや障がいを抱えても子育て中であっても、地域でその人らしく主体的に生きていくことができる社会の実現を目指した活動を行います。 理事長 榎原千秋

●どのような活動を行っているの？

- 魂のいちばんおいしいところ ○聞き書きボランティア
- いのちのスープの会 ○障がい児・障がい者の居場所づくり事業
- 子育て中の親子の育児支援事業 ○次世代育成事業
- 金沢マギー ○がん哲学外来を考える会（患者と家族の声からつくる支援のかたち事業）

NPO法人 いのちにやさしいまちづくり ぽぽぽねっと
〒923-0028 石川県小松市榎町水11番1
Tel・fax：0761-23-7307 e-mail：
popopo.net77@gmail.com
HP：<http://square.umin.ac.jp/popopo/>

公益活動
推進センター